

7月の大雨による被害状況の視察

7月7日から大雨により県内各地で甚大な被害が発生したことを受け、7月12日、香原勝司議長は服部誠太郎知事とともに添田町、朝倉市、久留米市の被災地域を視察しました。現地では地元選出議員や地元首長が同席され、地元の皆様からのお話を伺い、添田町では橋梁被害を、朝倉市では護岸崩壊、久留米市では農作物被害などの状況を視察しました。また、久留米市では現地視察後に市役所において意見交換会を行い、原口新五久留米市長から、豪雨災害からの復旧支援に関する要望書を受領しました。

翌13日には、谷公一内閣府特命担当大臣(防災)による被災地視察に同行し、知事とともに「令和5年7月7日からの大豪雨災害対策に係る緊急要望書」を谷大臣に手渡しました。



知事との現地視察 7月12日



谷公一内閣府特命担当大臣(防災)による現地視察 7月13日

福岡県をワンヘルスの世界的拠点に!!

本県議会が議員提案で制定したワンヘルス推進基本条例に基づき、本県をワンヘルスの世界的先進地・拠点とする取り組みが着々と進行しています。

藏内勇夫議員の「世界獣医師会会長ワンヘルス特別賞」受賞を報告

6月6日、(公社)日本獣医師会会長及びアジア獣医師会連合(FAVA)会長でもある本県議会の藏内勇夫議員が、台湾・台北市で開催された2023世界獣医師会(WVA)大会においてラファエル・ラガンズ世界獣医師会会長から「ワンヘルス特別賞」を授与されたことを服部誠太郎知事に報告されました。今回の受賞は、藏内議員が、日本、アジア、そして世界のワンヘルスの推進に多大な貢献をされてきたご功績が評価されたもので、報告には、台湾に同行された香原勝司議長、松尾統章自民党県議団会長、秋田章二ワンヘルス・地方分権等調査特別委員会委員長、草場治雄(公社)福岡県獣医師会会長も立会されました。



ワンヘルスセンター立地協定締結

7月5日、服部誠太郎県知事は、ワンヘルス推進基本条例に基づき県が整備するワンヘルスセンターの立地について、みやま市の松嶋盛人市長と協定を締結しました。ワンヘルスセンターは、人の健康と環境の保全に関する諸機能を担う新たな「保健環境研究所」と、家畜だけではなく野生動物や愛玩動物の保健衛生を一元的に担う「動物保健衛生所」が相互に連携し、ワンヘルスに関する先進的な調査・研究や人材育成などを進めるワンヘルスの実践拠点です。

協定には、①県は、みやま市から保健医療経営大学跡地及び建物を譲り受け、この譲渡物件を最大限活用してワンヘルスセンターを整備するほかワンヘルスに関する事業を実施すること、②県は、ワンヘルスセンターに、ワンヘルスについて学び、体験できる設備や国内外の研究者が集う設備を整備し、市の地域発展に寄与すること等が規定され、締結式には、香原議長やワンヘルスの推進を提言した藏内議員とワンヘルス・地方分権等調査特別委員会の秋田章二委員長等が立会しました。



アジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィスオープン



アジアから世界に向けてワンヘルスの実践を広げるため様々な事業活動に取り組むアジア獣医師会連合(FAVA)ワンヘルス福岡オフィスが、アクロス福岡(福岡市中央区)内に開設され、8月1日、開所式が行われました。ワンヘルス推進の国際的交流拠点として期待されています。

全米獣医師会との連携が進展

藏内議員が全米獣医師会(AVMA)の招聘を受け、コロラド州デンバーで開催された全米大会で日本やアジアの獣医師会のワンヘルスの取り組みについてスピーチを行いました。昨年、フィラデルフィアで開催された同大会に続く二度目の招聘となり、改めて、本県や日本、アジアとアメリカとのワンヘルスに関する連携が確認され、絆が強化されました。

昨年のフィラデルフィア大会で生まれたハワイ大学との縁が今年4月の本県とハワイ大学との「ワンヘルス推進に関する覚書」の締結に繋がりましたが、今回も、全米有数の獣医学部を有するコロラド州立大学との連携の機運が生まれています。

